

平成 30 年度 上津役中だより

平成 3 1 年 3 月 5 日
北九州市立上津役中学校
校 長 森 隆
No. 1 1

枯れ草の間に緑も鮮やかに萌え出る候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。生徒たちは、学年末考査も終え、いよいよ学年の締めくくりを迎えます。特に 3 年生は、中学校生活最後の総決算である「第 7 2 回卒業式」が、今週末の 3 月 8 日に本校体育館で、行われます。真面目で、素直な 3 年生にふさわしい立派な卒業式が挙行できると信じています。また 1・2 年生は、22 日の修了式まで、来年度へ向けての良い準備をしてもらいたいと思っています。1 時間 1 時間の授業に集中して学習する姿勢、そして家庭での規則正しい生活習慣・家庭学習が重要です。毎日の生活で、1 日 1 日を大切に、成長していきましょう。

古典入門として学ぶ百人一首大会で、楽しみました。



2 年生が、インフルエンザ流行の為、1 月 29 日に予定していた百人一首大会を延期し、2 月 6 日に本校武道場で開催しました。豊田先生の叩く太鼓の音で、全員が静まり返り、上手の札が佐藤先生と吉富先生によって、読まれました。上の句が読まれている間に札を取る生徒は、多くの枚数を獲得しました。上の句と下の句のつながりを考え記憶している生徒の努力の成果が出ていました。反応が早くて下の句が読まれた瞬間に取れる生徒もいました。どの生徒も真剣に取り組み、1 枚でも多くの札を取りたいと頑張っている姿が、印象的でした。そして、1 枚の札が取られた時に出る歓喜の声や落胆の声、笑い声は、楽しくほのぼのとした雰囲気を感じさせてくれました。

結果は、以下の通りです。みんなが競い合う中で、楽しく古典の入り口を学ぶことができました。

団体の部	優勝：2年4組	準優勝：2年2組	第3位：2年3組	第4位：2年1組
個人の部	優勝：海老葵衣（66枚）	2位：近藤葉月（63枚）	3位：吉井梨歩穂菜（60枚）	
	4位：二股 亘（59枚）	5位：花田桃佳（58枚）	6位：末次亜衣実（52枚）	
	6位：笹川心遥（52枚）	7位：奥畑仁嗣（49枚）	7位：山下夏奈（49枚）	
	8位：岡田朋樹（48枚）	9位：三宅李佳（44枚）	10位：辻 真珠（42枚）	
	10位：小泉涼夏（42枚）			

「北九州市合唱フェスティバル」で、本校合唱部、大活躍！

2月9日（土）、北九州ソレイユホールで、「北九州市中学生合唱フェスティバル」が開催されました。北九州市は、「合唱の町・北九州」を掲げ、合唱を通したまちづくりを進めています。今年で4回目となるこの「合唱フェスティバル」は、我々観客に大きな感動を与えてくれました。1部「北九州を歌う」は、北九州市に縁のある曲を合唱しました。2部「楽しい編曲の世界」では、他の楽器とのコラボレーションも取り入れ、合唱だけでなく広がった音楽の世界を聴かせてくれました。上津役中は、市内の中学校6校と一緒に同声合唱組曲「よろこびハーモニー」と題して、指揮：田中奈穂美先生、ピアノ伴奏：田原彩香先生で合唱しました。全員が日頃から毎日練習している合唱部だけに、声量がある歌声で、美しいハーモニーを聞かせてくれました。また、ボンゴや木琴、シンバルなど打楽器も合唱に加えられ、小気味のいいリズムで我々の心を興奮させてくれました。フィナーレでは、会場全員が知っている「ハレルヤ」の全体合唱でした。ステージに約400人の合唱部が上がり、迫力のある美声で我々観客の心を揺さぶりました。会場全体が一体に包まれたような感じがして、自然に最高の気分を味わうことができました。

ダンス部、「創作ダンス研究発表会」で、最高のパフォーマンスを！



2月23日（土）、ウエルとばたで、「第54回創作ダンス研究発表会」が開催されました。主催は、福岡県女子体育連盟で、幼児から年長者まで生涯健康で心豊かな充実した人生を目指して活動しています。発表会は、昭和40年から今年で54回目を迎え、幼稚園児から小中高生、社会体育の方まで、21団体が出演しました。総勢500名の出演で、素晴らしい発表会でした。

その中で、上津役中学校ダンス部は、次のよう

な思いで、ダンスを披露しました。「一つの事でも“Point of view”（ものの見方）が変わると、全く違うものに見えることがあります。毎日、私たちの周りでは、いろいろなことが起こります。書道家の相田みつおさんは、『しあわせは いつも じぶんの ところが きめる』という言葉を残しています。広い視野といろいろな“Point of view”で、周りを見ることができたら、「しあわせ」の数も増えるのかな？そんな気持ちで踊ります。」

上津役中のダンス部員一人一人が、大勢の観客の前で、とても幸せそうな表情とダイナミックな動きを見せてくれました。

1 年生は、社会見学で、門司港・下関の歴史や文化を学びました。

2 月 22 日に、北九州市の代表的な観光地「門司港レトロ」地区の街並みや文化歴史に触れるために、班別研修を行いました。生徒たちは自分たちで計画した行程に従って、足を運び、見学しました。主な見学場所は、次の通りです。

「旧大連航路上屋：北九州市や大連市にまつわる展示や映画・芸能資料館『松永文庫』がある。」

「九州鉄道記念館：鉄道の歴史を楽しみながら学べる記念館で、2014 年には国の登録有形文化財に登録された。」「旧大阪商船：大正 6 年に建てられた『大阪商船門司支店』を修復したもので、八角形の塔屋と鮮やかなオレンジ色の外壁が特徴。『わたせせいぞうギャラリー』『門司港デザインハウス』がある。」「旧門司三井倶楽部：大正 10 年に三井物産の接客・宿泊施設として建設されたもので、アインシュタイン博士が来日した際に宿泊したアインシュタインメモリアルルームがある。国の重要文化財に指定されている。」「旧門司税関：明治 45 年に建てられた煉瓦造りの平屋構造の建築物で、昭和初期まで税関庁舎として使用された。」

「門司港レトロ展望室：日本を代表する建築家『黒川紀章』氏が設計した高層マンションの『レトロハイマート』の 31 階にある展望室。」「門司電気通信レトロ館：大

大連友好記念館前



門司港レトロ展望室前



海峡プラザ前



正 13 年に『通信省門司郵便局電話課庁舎』として完成。門司における最初のモダン建造物で、明治から平成にかけて活躍した電信・電話機の展示と体験・記念写真コーナーがある。」

生徒たちは、それぞれの良さを感じながら、楽しく体験学習ができました。

2 年生は、社会見学で、日本文化の形成と平和について学びました。

2 月 26 日に、大宰府市にある九州国立博物館と朝倉郡にある筑前町立大刀洗平和記念館に行ってきました。九州国立博物館では、旧石器時代から近世末期（開国）までの日本の文化の形成について学びました。博物館では、5 つのテーマで時代毎に振り返る展示品と説明がなされていました。テーマ 1 「縄文人、海へ」は 250 万年前～紀元前 400 年まで、テーマ 2 「稲づくりから国づくり」は紀元前 400 年～西暦 663 年まで、テーマ 3 「遣唐使の時代」は西暦 663 年～1192 年まで、テーマ 4 「アジアの組は日々これ交易」は西暦 1192 年～1573 年まで、テーマ 5 「丸くなった地球 近づく西洋」は西暦 1573 年～1853 年までの時代の文化交流を表現していました。そして、その時代の文化の形成を分かり易く面白い説明が加えられていました。社会の教科や歴史が好きな生徒はもちろん、それほど興味のない生徒も新たな発見があり、考えを深める良い機会になったと思います。ほとんどの生徒が、自分のしおりに鉛筆で、一生懸命にメモしている姿に感激しました。真面目で素直な素晴らしい 2 年生です。

大刀洗平和記念館前で、楽しい昼食（弁当）の時間



記念館の館長からの「大刀洗飛行場の歴史と戦争の悲劇」についての講話



多くの尊い犠牲のうえに現在の平和と繁栄があることを深く感謝し、この筑前町立大刀洗平和記念館は「平和への情報発信基地」として、平和へのメッセージを発信し続けています。大刀洗陸軍飛行学校は本校と呼ばれ、後に特攻隊員となった多くの飛行兵が教育を受けました。特攻隊の基地として有名な鹿児島県の知覧は、大刀洗陸軍飛行学校の分校のひとつでした。旧大刀洗平和記念館と筑前町に託された数多くの遺

また、大刀洗平和記念館は、太平洋戦争や大東亜戦争中の資料約 1,800 点が展示された歴史資料館です。かつてこの地には、旧陸軍が東洋一を誇った大刀洗飛行場を中心とする一大軍都が存在し、歴史的な役割を果たしながら大きく発展してきました。しかし、昭和 20 年 3 月、米軍の大空襲により壊滅的な被害を受け、民間人を含む、多くの尊い命が失われました。また、この飛行場は特攻隊の中継基地として、多くの若き特攻隊員たちの出撃を見送った場所でもあります。このような

書や手紙は、戦争という歴史の事実を後世に伝える貴重な資料でした。

最初に本校生徒全員に平和記念館の説明とビデオ上映、そして手記の朗読がありました。その後、ボランティアの専門的に詳しい方々にお話を伺いながら、資料や写真、戦争で使われたいろいろな品物を見学しました。その生徒の感想を掲載させていただきます。

1 年生が、「思春期健康教室」でいのちの大切さを学びました。

2月28日の13:40～15:30に、本校の2階と3階の多目的室で、生徒が男女の違いと性についての正しい知識を学びました。そして自他を大切にすることを学びました。特に男女で別れて講話を聴きましたが、とてもためになる内容でした。男子は、「自分の身体の成長について正しい知識」を「愛するということは相手の女性を大切にすることであるということ」を学びました。女子は、自分の身体が赤ちゃんを生み育てるために成長していくことを具体的に詳しくお話して頂きました。そして、健全に身体が成長していくために、今の規則正しい生活習慣がとても大切であることを学びました。また、生徒たちは、今自分が悩んでいること、これから体験していくであろうことでしたので、なおさら興味深く真剣に話を聞いていました。素晴らしい生徒の感想を掲載します。ぜひ、これからの人生に生かして欲しいと思います。

赤ちゃんが「できた」ではなく、赤ちゃんを「さずかった」や赤ちゃんに「恵まれた」という言葉を使うことが、印象に残りました。それは、赤ちゃんをさずかることは、とても奇跡だからです。そして、今を当たり前のように生きているけど、約3億個の精子の中から1つ選ばれ、1つの卵子と結びついて生まれた人間だから、毎日に感謝していきたいです。

それぞれ体に起こる変化は様々で、個人差があるということ、そして、いのちがどれだけ大切なものであるかということが、印象に残りました。今日の講演会では、両親が苦しんで、たえて、その結果産まれてきた命だと思うと、すごく大切に奇跡のような命なんだなと感じました。

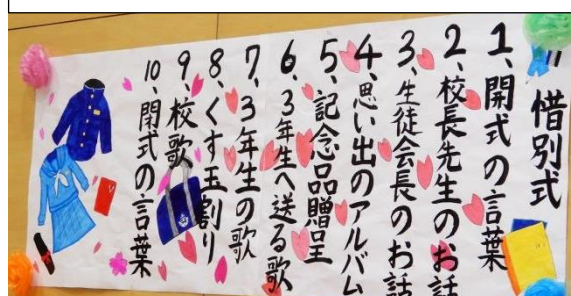
最後のDVDが、とても印象に残りました。夫婦2人で一生懸命に生を授かるために努力する姿は、とても輝いて見えました。思春期の身体の変化は、個人差があるんだなと思いました。自分と女子の捉え方は違うので、それを理解したうえで、これから接していきたいです。

実際に出産の映像を見てみて、新たな命を生み出す大変さというのが分かったので、先生が言っていたように、赤ちゃんは「できる」のではなく、「さずかる」というようにしたいと思いました。自分や家族、いろんな人の命の大切さというものを改めて感じました。また、その大切な命をさずかることができる身体になっているという実感がわきました。1つ1つの命に、しっかりと責任がもてるようにしたいです。

惜別式で、1・2年生と3年生が最後のお別れをしました。

3月1日の5・6校時に、本校体育館で惜別式を行いました。3年生は、本当にまじめで素直な生徒でした。体育大会や文化発表会で素晴らしいパフォーマンスを披露できたのは、真面目にこつこつと練習し、地道に準備をしてきたからだと確信しています。日頃の学校生活での学習姿勢も立派で、日頃の授業での集中力は見事でした。部活動での活躍も素晴らしく、日常の挨拶や後輩へのアドバイス優

執行部が作成した「式次第」



しい声掛けなど本当に尊敬できる先輩であったように思います。上津役中の最上級学年として、良くリードしてくれました。そんな3年生に、1・2年生の生徒会執行部が中心となり、心温まる惜別式を開いてくれました。

1・2年生から3年生へ贈られた合唱「手紙」、クリアファイルとしおりのプレゼント、思い出のアルバム（スライドショー）など、3年生が心から喜び、楽しめるような催しを企画してくれました。3年生は、そのお返しに「群青」を合唱しましたが、心のこもった最高の歌声でした。エンディングのくす玉割では、生徒会執行部が苦勞して完成させたものだけあって、見事に成功しました。くす玉が割れた時に表と裏に書かれた「未来へ輝け！はばたけ！」と「ご卒業おめでとうございます」の垂れ幕は、インパクトがありました。また、全校生徒による校歌は、3年生を中心に、歌声が体育館中に響き渡り感動しました。

最後に、在校生と先生方に送るメッセージを3年生が心

を込めて作成したビデオ撮影がありました。3年生が、上津役中学校のすばらしさを訴え、1・2年生の在校生へエールを送ってくれました。また、先生方への感謝の気持ちを表し、明るく楽しくみら

れるように様々な工夫がなされていました。斬新なアイデアと在校生や先生方への心遣いが感じられる本当に心温まる映像でした。ありがとうございました。

1・2年生の生徒会執行部の生徒たちと生徒会の吉富先生、三船先生は、この日の為に1ヶ月以上も前から取り組んでくれました。会場の準備はもちろん、上記のような催しを企画・立案・準備・運営など大変だったと思います。本当にありがとうございました。

華やかな3年生の入場（大拍手で）



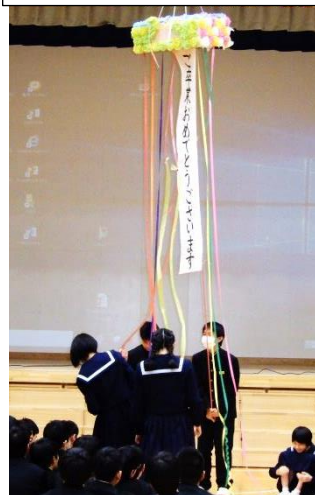
3年生へ贈る 1・2年生の合唱「手紙」



1・2年生へ贈る 3年生の大合唱「群青」



くす玉割、大成功！！



1・2年生と3年生が歌った、最後の校歌
「全校生徒の大合唱で、盛り上がりました。」